

科 目		必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科			単 位 数	授 業 形 態					
情報基礎 (Introduction to Information)		必	村田 充利	1年生 電気情報工学科			1	後期 週2時間					
授業概要	情報社会で快適に過ごすための情報の本質とその処理の原理を説明し、情報機器の活用に関する基礎的な知識と技術を学習する。さらに、Microsoft WordおよびExcelの使い方について学習する。												
到達目標	(1) 情報概念と収集・加工・整理の方法を知っている。 (2) コンピュータを活用して問題を解決するとき、最低限の知識を知っている。 (3) 文字情報と図画情報を組み合わせるレポートを作成できる												
評価方法	演習課題80%・タイピング試験20%で評価する。												
教科書等	例題30+演習問題70でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキスト 定平 誠 技術評論社												
内 容									学習・教育目標				
第 1 週	情報センターの利用、インターネット、電子メールの使用法								C-1				
第 2 週	情報の活用発信 Wordの演習								C-1				
第 3 週	〃								C-1				
第 4 週	〃								C-1				
第 5 週	情報の処理と技術								C-1				
第 6 週	〃								C-1				
第 7 週	〃								C-1				
第 8 週	〃 Excelの演習								C-1				
第 9 週	〃								C-1				
第10週	〃								C-1				
第11週	情報と社会生活								C-1				
第12週	〃 Word・Excelの総合演習								C-1				
第13週	〃								C-1				
第14週	〃								C-1				
第15週	〃								C-1				
第16週													
第17週													
第18週													
第19週													
第20週													
第21週													
第22週													
第23週													
第24週													
第25週													
第26週													
第27週													
第28週													
第29週													
第30週													
(特記事項)			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
					◎								

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。)

電気情報工学科1年生 情報基礎 (Introduction to Information)

【第1週】

情報処理教育センターおよび学内の教育用ネットワークを利用するための方法や各種設定を行う。また、情報社会に参加し、インターネットを安全かつ快適に活用するために、情報ネットワークを利用するためのマナー（ネットワークエチケット）の基本事項について説明する。

【第2週～第4週】情報の活用発信

私たちが生活している社会では、多種多様の情報が流れている。この中から必要な情報を収集し、自分で分かりやすいように整理している。また、人に情報を伝える場合は、相手にわかるような表現に情報を加工している。ここでは、この情報の収集・整理、加工・表現の際に、注意すべき点について勉強する。

また、情報を外部に向けて発信する場合も、いくつかの方法があり、それぞれに注意すべき点がある。ここでは、これらについて学習する。

ここまで情報の収集、発信について学んだが、情報の中には他の人に漏れてはいけないものも存在する。ここでは、自分が情報漏えいの被害者とならないための対策法と、加害者とならないためのモラルやマナーについて学習する。

【第5週～第10週】情報の処理と技術

コンピュータの計算能力を利用して、日頃起きている様々な現象を擬似的に実行することができる。ここでは、この様にコンピュータを利用して様々な現象における問題を解決するための基本的な考え方について学習する。

現在、ほとんどの人がインターネットに触れてことがあるだろう。このインターネットも情報通信ネットワークの一種である。情報通信ネットワークについて、簡単に学習する。

コンピュータ内では、情報を0と1の2値で取り扱う。この様な2値を基準に表される情報をデジタル情報という。文字や画像もデジタル情報でしか取り扱えない。さまざまな情報をデジタル情報として表現する方法について学習する。

【第11週～第15週】情報と社会生活

情報の伝達方法は、その時代々々でさまざまな方法が生まれ、社会の変化とともに多様化してきた。情報伝達方法と多様化の状況について学習する。

最近では、インターネット上で商品の売買（電子商取引）が行われるようになっている。また、おサイフケータイなど実際の貨幣を使わずに支払う技術が実用化されている。ここでは、それらの技術について学習する。

昨今のインターネットの普及により、様々な情報がネット上にあふれている。この情報に触れる機会を持つか持たないかで、色々な場面での状況判断が違ってくる。また、流れている情報の中には有害なものも含まれる。ここでは、情報の信憑性についての基本的な考え方を学習する。

インターネットを利用した犯罪がよくニュースに流れるようになっている。ここでは、これらインターネット犯罪と関連法規に関して、簡単に学習する。

【第2週～第15週】Word・Excel演習

中学校で習ったワープロ（Word）、表計算ソフト（Excel）について、総合演習課題として復習する。これから各学年で行う電気情報工学実験に必要な実験データの整理・加工の基本的な技術を学習し、文字情報と図画情報を組み合わせる手法について学習する。また、図や表、参考文献の入る報告書（レポート）などを作成する。